

# 松山通信 6・7月号

Matsuyama Press

第2号

発行日:平成27年7月17日



## 9, 10月の行事予定

- 9月 1日(火) 始業式、学校祭準備
- 9月 2日(水) 担任面談  
~8日(火)
- 9月 8日(火) 学校祭関係LHR①
- 9月 15日(火) 学校祭関係LHR②
- 9月 29日(火) 学校祭関係LHR③  
生徒集会
- 9月 30日(水) 学校祭予行 (3、4限)
- 10月 1日(木) 学校祭(文化の部)
- 10月 2日(金) 学校祭(体育の部)
- 10月 13日(火) 生徒会選挙
- 10月 20日(火) 中間考査  
~23日(金)
- 10月 23日(金) 生徒集会
- 10月 27日(火) 芸術鑑賞会



## 岡山県定通春季バドミントン大会

6月6日(土)に倉敷体育館で岡山県定通春季バドミントン大会が行われました。本校からは、濱田歩君(4年)、赤木志帆さん(4年)、江藤元二君(3年)が男女シングルスと男子ダブルスに参加しました。初めて試合に出場する選手もあり、試合前にはかなりの緊張感がありました。コートサイドから生徒や先生の応援をうけ、熱戦を繰り広げていました。放課後や土日の練習の成果もあり、とても内容のある大会になりました。秋季大会ではさらなる活躍を期待しています。



## 校内生活体験発表会

7月14日(火)に校内生活体験発表会がありました。この日に向け、ホームルームや国語の授業、さらに放課後などを使って、それぞれの体験や想いを作文にしていきました。発表会では、人前で発表をすする緊張感と戦いながら、みんな一生懸命に発表をしていました。日ごろの学校生活を振り返ったもの、これからの自分に対する決意や目標を述べたもの、学業と仕事の両立の中で得たことなど、一人ひとりの確かな気持ちがたくさんあり、とても良い発表会となりました。全員の作文は、年度末に「五月に芽生えたもの」という冊子にまとめられる予定です。発表会の結果は以下のとおりです。

- 1位 赤木 志帆さん(4年)  
「変化」
- 2位 牧田 有平くん(4年)  
「心に決めた事、これからの事」
- 3位 武田 知樹くん(4年)  
「アルバイトを始めて」



## チームビルディング



### 人間知恵の輪

人間で作った知恵の輪を解く

様々な内容に取り組みましたが、回数を重ねるごとに、活発に意見を出し合うなど、協調性が高まってきました。



ペーパータワー  
紙と文具のみを使い、より高いタワーを作る

1学期の総合学習の中で、「チームビルディング」に取り組みました。「チームビルディング」はより良い集団作りには欠かせない手法で、グループになって課題解決的な活動を行います。企業の研修や各種スポーツの代表チームの合宿などにも取り入れられています。本校では、松山ファミリーのチームワーク向上と他者を協力する力を身に付けることを目的に実施しました。

- 1学期精勤賞  
武田 知樹くん (4年)
  - 岩原 勝正くん (2年)
  - 1学期皆勤賞  
牧田 有平くん (4年)
  - 平松 創くん (3年)
- 体調を整えて、欠席ゼロを目指しましょう!!

よく頑張りました!!

# 台風の影響により休校に 紙上 一学期終業式 ○校長式辞○



明日からいよいよ夏休みです。この1学期、皆さんの日々の生活に接して、それぞれの生活環境の中で、よく頑張つて高校生活に励んでいることを強く感じています。特に昼間アルバイトや仕事をしながら、夜、学校に通うということは、肉体的にも精神的にも大変なことです。雨降りや疲れているとき、ともすると休みたくなる日もあったことと思います。そうした中、何があっても、まず元気に登校することと強い意志がないとできません。特に、皆勤賞、精勤賞だった人は、本当に立派です。この1学期、頑張つた人は、今日ばかりよつと自分を褒めてあげましょう。

さて、人はなぜ働くのでしょうか。今日は「働くこと」についてお話ししたいと思います。

江戸時代の長屋のお話です。長屋とは、今で言う一階建ての集合住宅のことです。そこに、腕はいいが、飲んだくれの大工の熊さんが住んでいました。仕事もせずに毎日飲んだくれ、女房、子供にも逃げられてしまう。やけになって暴れたりするから近所の人からのけ者扱いにされていました。家賃もずっと払っていないから、今ならとつくに長屋を追い出され、ホームレスになっていても不思議ではありません。

ところが、その大家さん、今で言う管理人です。その人がいい人で、熊さんに、こんな話を持ちかけます。

「うちの長屋もだいぶ色々なところが傷んできたから、ひとつ長屋の修理をやってくれないか。でも修理代は取っちゃだめだよ。そのかわり家賃はいらさないし、酒代も俺が出してやるよ」そう大家さんに言われ、熊さんもそれをしぶしぶ引き受けます。

それから、おんぼろ長屋の台所だとか、玄関だとか、屋根だとか、毎日、熊さんが修理をするようになる。するとただで修理してもらった家の人から「熊さんありがとう」「熊さん腕がいいね」と感謝されるようになる。時々、修理してもらった人がお酒のおつまみを差し入れてくれる。

これまで、のけ者扱いにされていたのが、いきなり誉められ、感謝される。これに気を良くした熊さんは、隣の長屋まで修理して歩くようになり、ますます熊さんの評判が高くなります。するとその評判を聞きつけ、あっちこちから仕事の依頼が入るようになる。しまいに弟子にしてくださいという人

まであらわれる。

やがて熊さんは立派な大工の親方になる。そんなお話です。そんなうまい話があるものか。そう思った人もいるかもしれませんが、でもこれが本来の日本の社会の在り方、仕事のあり方だったと私は思います。皆さんよく考えてみてください。飲んだくれの熊さんを仕事にかりたてていったもの、それは「お金」でしょうか。「お酒」でしょうか？

熊さんも、毎日ゴロゴロしているだけでは、誰からも声をかけられることはなかったと思います。一生懸命働いていたからこそねぎらいの言葉をかけられた。その感謝の言葉に、世の中とのつながりを感じて、さらに働くようになった。

社会というのは、家庭とは違って、基本的には見知らぬ者同士が集まる場です。そこで生きるには、他人から何らかの形で仲間として認められる必要があります。それが「働く」ということだと思えます。

働くことを「社会に出る」と言い、働いている人のことを「社会人」といいますね。働くことは「社会とつながる」ことです。

日本の社会も少しずつ変わってきて、江戸時代の長屋の人たちのように、お金よりみんなで仲良く生活しようとする温かい心が薄れていきます。さらに、厳しい就職状況は今後も続くと思います。こういう厳しい社会状況の中でも、しっかりと社会とつながる力をつけて欲しいと願っています。

そのためには、まず、厳しい環境にも耐えられる強い根っこをつくることです。毎日、毎日、辛い勉強やアルバイトなどを続けることで強い根が育ちます。そして、身だしなみや挨拶など社会人としての礼儀作法をしっかり身に付けることです。皆さんなら必ずできます。

「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。運命が変われば人生が変わる。」といえます。どんな小さなことでもいいんです。自分への挑戦の40日間としてもらいたいと思います。

厳しい夏の日差しの中で、皆さんが育てた野菜たちも競い合って成長を続けています。皆さんも充実した夏休みを過ごしてください。では、事故や怪我のない規則正しい生活を心がけてください。2学期に元気な顔で会いましょう。

校長 蟻正 教子

## 1. 教育方針

学びつつ働くことのできる夜間定時制高校としての特性を生かし、生徒、保護者、地域社会から信頼される学舎として、自ら求めて学ぶ人物の育成に努める。

## 2. 教育目標

- (1) 地域社会への貢献と協働の精神の育成
- (2) 豊かな知性と情操に基づく文化的想像力の育成
- (3) 勤労を尊び、責任を重んじる職業観・勤労観の育成

岡山県高梁市立松山高等学校

電話 0866-22-3618

FAX 0866-21-1007

HP: <http://www.sc.city.takahashi.okayama.jp/matsuyamako/>



# 働きながら学ぶ